

川越市下水道竣工記念碑

竹石 和夫

川越は、江戸時代より有力大名の城下町として、また、新河岸川を通じた江戸への農産物の集積地として発展してきた。当時の面影は、小江戸とも呼ばれる蔵造りの街並みに辿ることができる。

下水道については、大正13年に下水道計画が策定され、15年に工事着手。開きよ・暗きよが整備され、昭和4年に第1期工事が完了した。引き続き、昭和5年に下水道法の認可を受けて第2期工事に着手し、昭和13年4月に竣工した。

「川越市下水道竣工記念碑」は、この第2期工事の竣工を記念したものであり、下水の放流先であったと思われる、中心市街北部の新河岸川の河畔に設置されている。

(裏面碑文)

本市ハ従来下水道ノ設備完全ナラズシテ 市民ハ雨水汚水ノ排泄湛水ニ悩ムコト多シ
於茲市會ハ 昭和五年六月下水道法ニ依リ完全下水道布設ヲ議決シ 同七年三月起工
総工費六拾九萬餘圓ヲ費シテ同十三年五月竣工ス 其ノ地域ハ全市ニ亘リ 面積参百
拾九ヘクタールニ及ベリ

昭和十三年五月三十日 川越市長 橋本定五郎

昭和五十九年三月原型に基づいて修復す 川越市長 川合喜一



写真-1 川越市下水道竣工記念碑
所在地:川越市宮元町4丁目地先
宮元町児童遊園内

[グーグル地図](#)



写真-2 記念碑裏面
碑文は手でなぞらないと読み取れない。



写真-3 宮元町児童遊園

公園の地下は雨水貯留施設(田谷橋貯留施設)になっており、電気の盤とエア抜きが見える。

貯留施設の設置の際に碑の位置を多少移動させ、その時に修復もされたと推測される。



写真-4 記念碑の傍の取水堰「田谷堰」

記念碑そばの新河岸川に設けられた取水堰。記念碑と同じ昭和13年に建設。

この北を流れる赤間川を新河岸川に付け替えて下流の水量が減少したことから、田谷堰を設けて用水路を整備した。



写真-5 取水用の3つの樋管とゲート

田谷堰のすぐ上流に3つの用水樋管があるが、現在は使われているようには見えない。取水口の高さがそれぞれ異なるのが面白い。